



違っていても、みんな大切な仲間です

みなさんは、視線を合わせない、話しかけても答えない、話すことばが一方的で唐突だったり、おうむ返しだったり、変わった行動や同じしぐさを繰り返す…そんな人に出会ったことはありませんか？ その人は、もしかしたら、自閉症かもしれません。

自閉症のひとたちは、コミュニケーションをとることが苦手です。

だからうまく伝えられません。

自閉症のひとたちは、独特の感性をもっています。

でも、うまく伝えられません。

彼らには、正しい理解と適切な支援が必要です。だから、知ってください、「自閉症」のこと。



自閉症は、その文字から、自分の殻に閉じこもる精神的な病であると誤解されがちですがそうではありません。また、乳幼児期に適切な療育がなされなかったために、心を閉ざしてしまったというような情緒の障害でもありません。

自閉症って？

- ① 対人関係の困難さ
 - ② コミュニケーションの困難さ
 - ③ こだわりと興味の狭さ
- といった3つの行動的特徴で診断されます。

※自閉症の原因はまだ分かっていません。現在のところ、先天的に脳の中の中枢神経系の働きに問題があり、情報伝達がスムーズにいかないことによる広汎な領域における発達の偏りと考えられています。



どんな特徴があるの？

- ◆ 反復的な動作を繰り返す。
- ◆ 変化に対して不安があり、抵抗を示す。
- ◆ 想像力が弱い—ごっこ遊びが苦手。
- ◆ ひとの気持ちを察したり、場の雰囲気を読めない。
- ◆ 触覚、味覚、痛覚、嗅覚が極度に敏感だったり、鈍かったりする。
- ◆ 記憶力など一部の機能が特に優れている人がいる。音楽、絵画、文学、科学の分野で優れた能力を発揮する人もいる。

など

- 自閉症の人の症状は様々で、その表れ方は一人ひとり違います。自閉症の人の行動は、一見、不思議で困った行動に見えますが、その行動にはすべて理由があります。
- 自閉症の人は、その特性ゆえに日常生活や社会生活を送る上で、様々な困難に直面しています。しかし、その人に合った支援の方法を見つけ、適切に対応することで、自閉症の人も地域社会の中で皆さんと一緒に生活することができるようになります。

平成19年、国連は毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」と制定しました。これは国連から世界に向けた「自閉症の理解の普及と支援に取り組もう」との呼びかけです。そしてこの日を中心に、世界および日本の各地において、自閉症に関する啓発イベントが行われるようになりました。

自閉症の人が望むのは、「心のバリアフリー」です。

自閉症の人には、その特性から、正しい理解と適切な支援が必要です。
 自閉症の人が暮らしやすい社会はどんな人でも暮らしやすい、豊かな社会となるでしょう。
 街が自閉症の人に慣れて、自閉症の人にも街に慣れて、
 「隣で暮らしていても当たり前」、「隣で働いていても当たり前」の社会の実現を、
 私たちは願っています。



日本自閉症協会発行「自閉症の手引き」改訂版21頁より

●主な発達障害の分類と特徴（それぞれの障害は併存することもあります）

こはんせい 広汎性 発達障害	自閉症	※表面参照 ※知的発達に遅れがない場合を「高機能 自閉症」という。
	アスペルガー 症候群	自閉症と同様の特徴があるが、知的発達の 遅れと言語獲得の著しい遅れがない 状態。
注意欠陥／多動性障害 (AD／HD)		集中力の維持が困難、多動、衝動性がある。
学習障害 (LD)		聞く、話す、読む、書く、計算する、 などのどれか、いくつかに困難がある。
その他		発達性協調運動障害など。

発達障害と自閉症

認知や言語、運動、社会性などにかたよりや遅れがある状態を『発達障害』と言います。

平成16年に「発達障害者支援法」が制定され、平成17年4月に施行されました。この法律は、自閉症、アスペルガー症候群その他広汎性発達障害(PDD)、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(AD/HD)、その他これに類する脳機能障害を発達障害とし、生活全般にわたる支援を目的としています。この法律の対象となる人は学童年齢では6%いるとされ、決して希な障害ではありません。

少しでも気になることがありましたら、一人で悩まないで、地域の保健センターや児童相談所、市の福祉課などに相談してみましょう。また、お子さんのことだけではなく、子どもの行動に振り回されて、周囲からは「しつけがなっていない」と責められ、心身ともに疲れ果ててしまった親御さんに対する支援が必要な場合もあります。そんな時も遠慮なくご相談ください。

また、自閉症の人への支援は、乳児期、幼児期から始まって、学齢期、成人期、壮年期、老年期と生涯にわたって必要になります。自閉症に関してのご質問やご相談などございましたら、日本自閉症協会またはお近くの各地区自閉症協会、発達障害者支援センターにご連絡ください。

《ご相談の連絡先》

- 千葉県発達障害者支援センターCAS
(TEL) 043-227-8557 (FAX) 043-227-8559
- CAS東葛飾
(TEL & FAX) 04-7165-2515
- 千葉市発達障害者支援センター
(TEL) 043-303-6088 (FAX) 043-279-1353
- 千葉県自閉症協会
ホームページもございますのでご覧ください。

“私たちは、さまざまなイベントに参画して、自閉症への理解啓発活動に努めます。”

世界自閉症啓発デーちば実行委員会

(千葉県自閉症協会・千葉県発達障害者支援センターCAS・千葉市発達障害者支援センター)